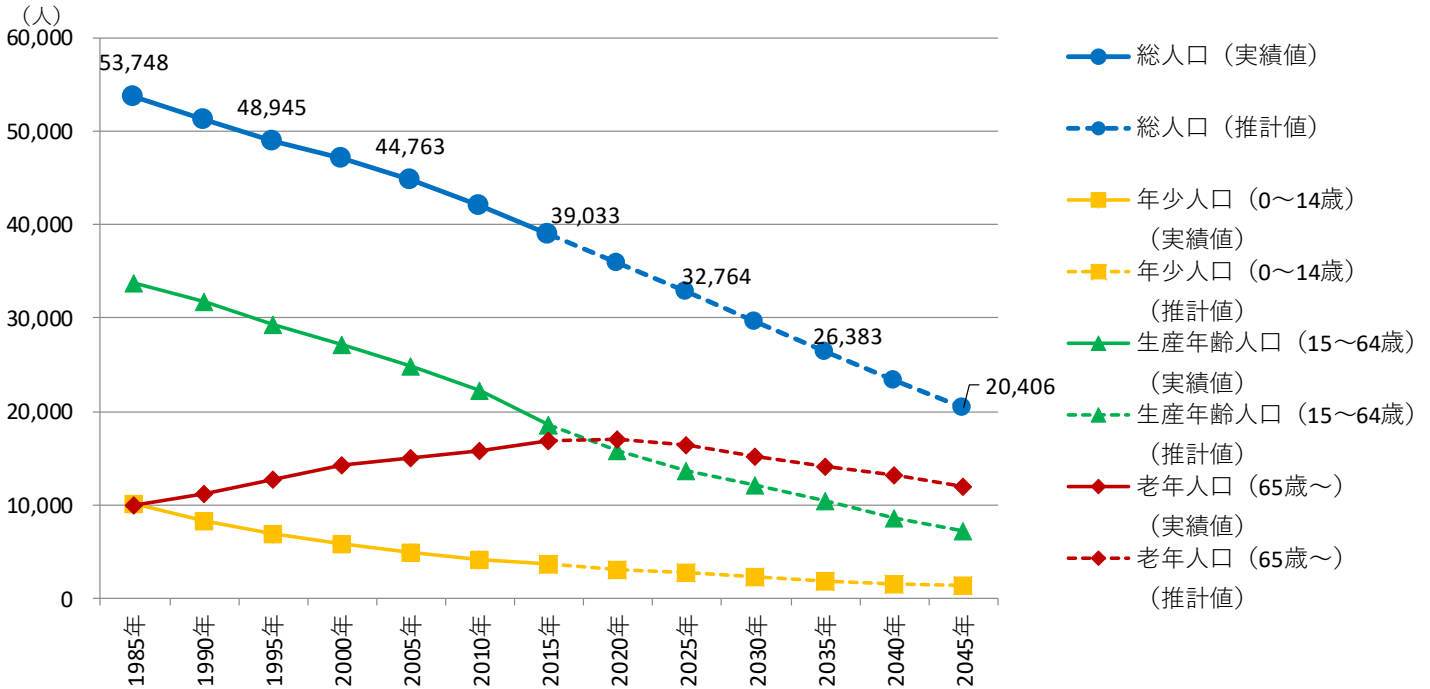


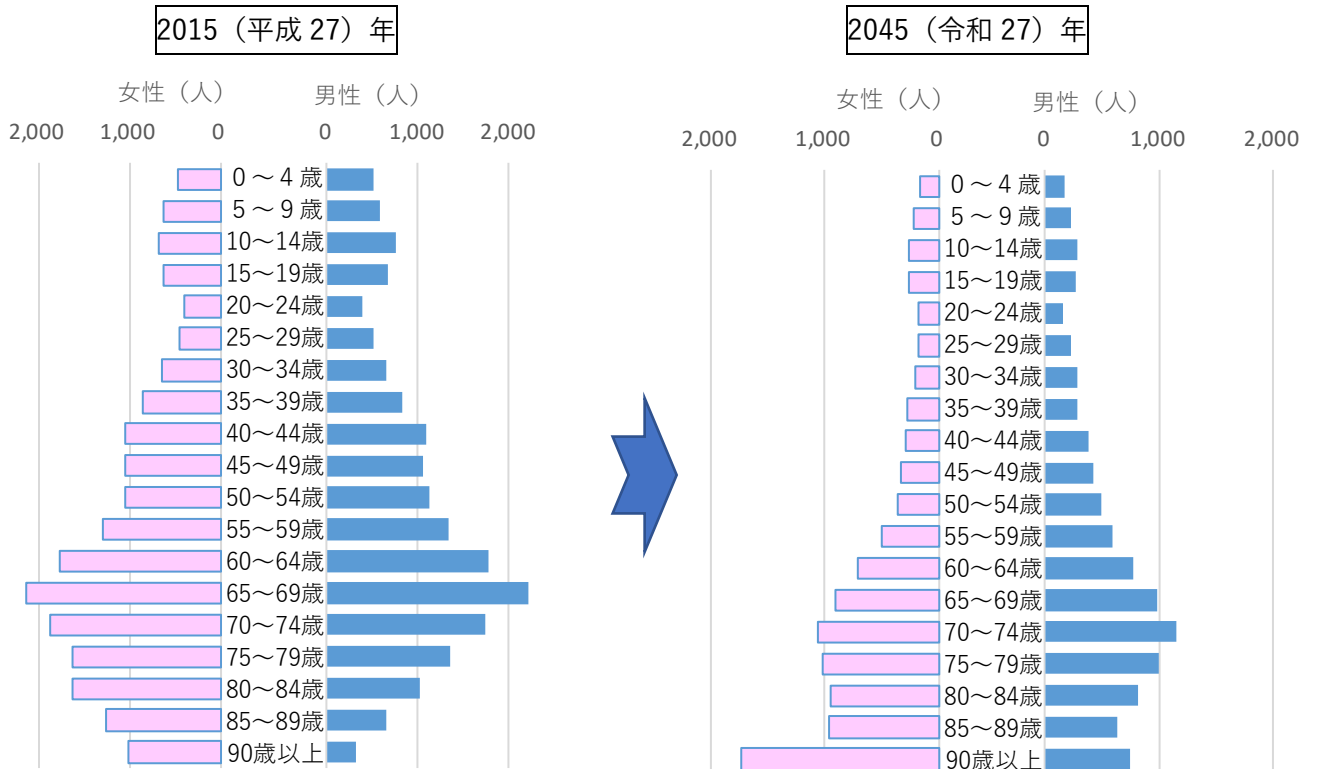
《数字で見る南房総市》

1. 人口 ～現状のまま推移すると、人口減少と少子高齢化が著しく進む～

- ✓ 総人口は減少傾向にあり、1985（昭和 60）年には 53,748 人であったものが、2015（平成 27）年には 39,033 人と、30 年間で約 3 / 4（72.6%）となっています。
- ✓ 国は、人口減少が今後加速化すると予測しており、2045（令和 27）年には 20,406 人と、2015（平成 27）年の約半分（52.3%）となると推計しています。



出典：総務省「国勢調査」1985（昭和 60）年～2015（平成 27）年
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）_千葉県」



2. 人口構成 ～子どもが少なく、高齢者が多い～

番号	統計指標	単位	南房総市	比較対象 都市※平均
①	合計特殊出生率（2019年）	—	0.85	1.17
②	年少人口比率（2020年）	%	8.4	10.3
③	生産年齢人口比率（2020年）	%	46.4	56.4
④	老年人口比率（2020年）	%	45.3	33.3
⑤	後期高齢者比率（2020年）	%	24.9	16.6

※千葉県内の人口10万人未満の市（銚子市・館山市などの19市。以下同じ）

- ✓ 合計特殊出生率（一生の間に女性が出産する子どもの数。人口維持のためには2.07が必要とされている）は1を割り込んでおり、とても低くなっています。

3. 産業・就労 ～1次産業が中心。仕事を持つ女性と高齢者が多い～

番号	統計指標	単位	南房総市	比較対象 都市※平均
①	1次産業就業人口比率（2015年）	%	20.3	8.14
②	2次産業就業人口比率（2015年）	%	15.1	22.5
③	3次産業就業人口比率（2015年）	%	63.7	66.3
④	30～49歳女性労働力率（2015年）	%	82.2	74.0
⑤	高齢者労働力率（2015年）	%	31.4	25.2

- ✓ 1次産業（農林漁業）に就労する人が他と比較して多くなっています。仕事を持つ子育て期の女性（30～49歳）と高齢者の多さも特徴です。

4. 住まい・健康 ～広い持家に暮らし健康長寿。ただし空き家は多い～

番号	統計指標	単位	南房総市	比較対象 都市※平均
①	持家世帯比率（2015年）	%	92.6	78.2
②	1住宅あたり延べ床面積（2018年）	m ²	133.5	111.1
③	空き家率（2018年）	%	24.4	18.1
④	65歳平均自立期間（男性）（2017年）	歳	17.8	17.6
⑤	65歳平均自立期間（女性）（2017年）	歳	21.0	20.5

- ✓ 持家世帯が9割を超えており、住宅の延床面積も広いですが、空き家も多くなっています。65歳の平均自立期間（介護を必要としない期間）は、他市より長くなっています。

この資料は、市民アンケートにご回答いただくにあたり、市の現状をご理解いただくためのものです。